

●平成26年度 各会計の当初予算額と増減率

会計名	平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減率(%)		
一般会計	97億9,290万円	96億9,010万円	1.1		
特別会計	国民健康保険	42億833万6千円	40億1,359万1千円	4.9	
	後期高齢者医療	3億1,991万2千円	2億9,833万8千円	7.2	
	介護保険	23億5,527万1千円	22億8,402万4千円	3.1	
	公共下水道事業	7億9,872万5千円	6億7,129万円	19.0	
病院事業	収益的収支	収入	5億4,510万8千円	5億2,729万2千円	3.4
		支出	6億9,419万4千円	6億5,594万5千円	5.8
	資本的収支	収入	2,200万円	0円	皆増
		支出	6,898万4千円	5,470万1千円	26.1
水道事業	収益的収支	収入	4億7,411万5千円	4億6,446万3千円	2.1
		支出	4億4,818万1千円	4億3,395万2千円	3.3
	資本的収支	収入	5,357万8千円	7,032万1千円	△23.8
		支出	2億1,960万3千円	2億8,658万1千円	△23.4

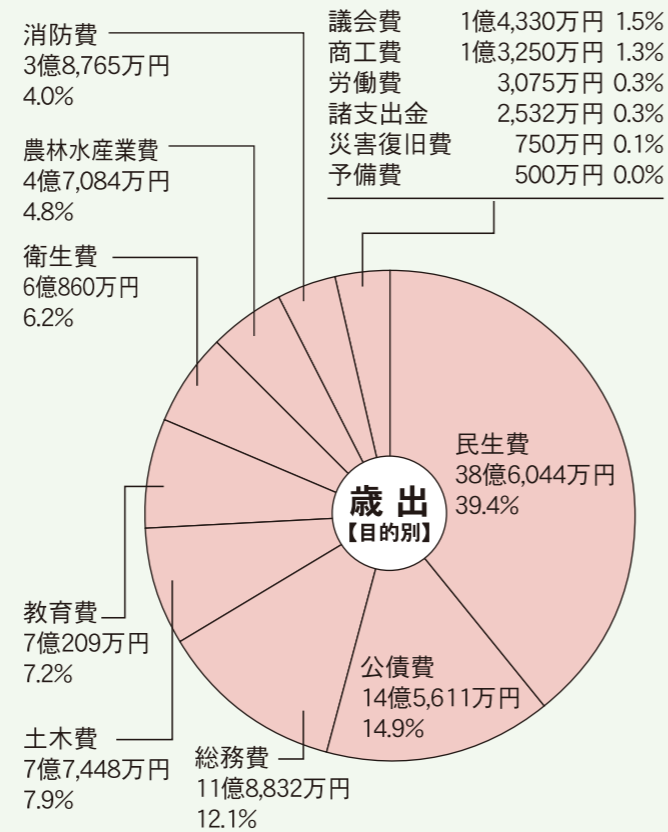
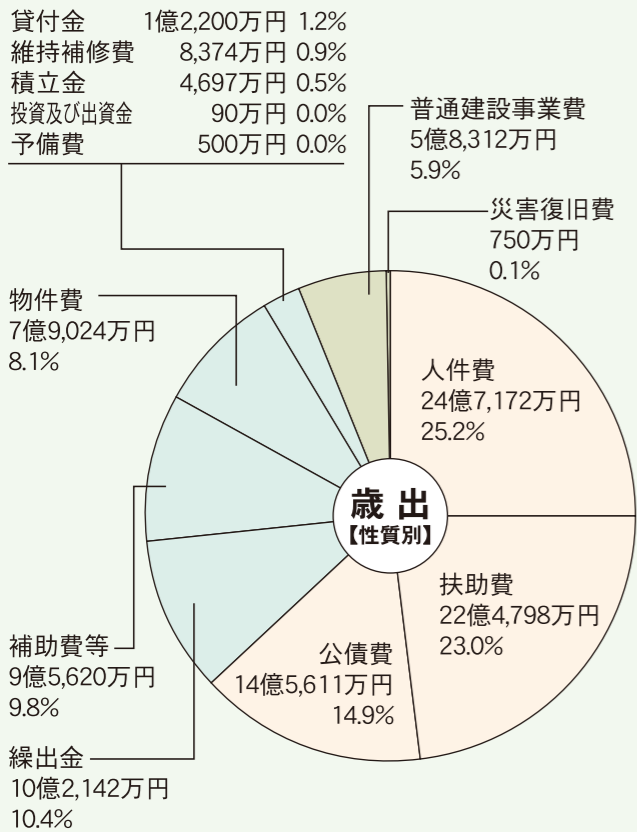
平成26年度の予算編成に当たっては、行財政改革を積極的に進め、財政の健全化を推進していくとともに、「人とまちの安心・健康」を推進するため、重点的に取り組む施策として、「環境保全」、「防災・減災対策」、「社会基盤の老朽化対策」、「経済・雇用対策」、「健康づくり」、「教育・福祉施策の充実」、「地域活性化」を掲げ、取り組んでいく

「人とまちの安心・健康」を推進するため重点的に推進する施策に取り組みます

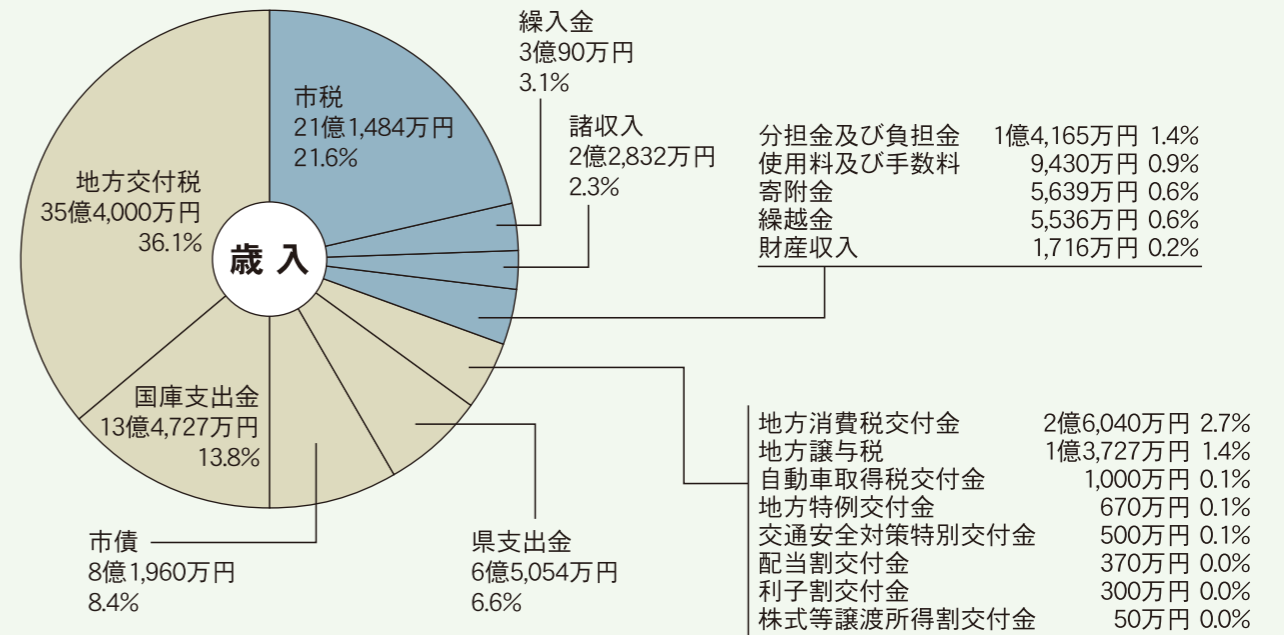
こととしました。また、「市民協働」によるまちづくりを更に推進するため、あらゆる場面で市民や各団体との協働を深化させる取り組みを進めるとともに、予算を伴わずに既存の施設や人材、ネットワーク等を活用し行政課題の解決や市民サービスの向上を図る「ゼロ予算事業」についても更なる拡充を図っていきます。

平成26年度 一般会計当初予算は 97億9,290万円

平成26年度一般会計当初予算額は97億9,290万円となり、前年度に比べ1億280万円の増となりました。ここでは、各会計の当初予算額と一般会計当初予算額の歳入・歳出の内訳をお知らせします。



平成26年度 一般会計当初予算 歳入・歳出の内訳



- 義務的経費 61億7,581万円 (63.1%)
支出が義務付けられ、任意に削減できない極めて硬直性の強い経費
- 投資的経費 5億9,062万円 (6.0%)
支出の効果が資本形成に向けられ、道路建設など将来に残るものに支出される普通建設事業費や災害復旧事業費などの経費
- その他の経費 30億2,647万円 (30.9%)
義務的経費及び投資的経費以外の経費

●前年度予算との比較(性質別)

	26年度	25年度
義務的経費	63.1%	62.7%
投資的経費	6.0%	6.1%
その他の経費	30.9%	31.2%

- 自主財源 30億892万円 (30.7%)
市税など市が自分の手で調達できる収入。この財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できるといえます。
- 依存財源 67億8,398万円 (69.3%)
国庫支出金や県支出金などのように、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入。

●前年度予算との比較

	26年度	25年度
自主財源	30.7%	30.0%
依存財源	69.3%	70.0%